

平成30年度 学校教育課 <重点施策>

I-1. 幼児教育・義務教育の充実

1、保幼小中一貫教育の推進 <保幼小連携の強化、小中一貫教育の推進>

(1) 保幼小の学びの連続性に向けた継続実践

小学校区での保幼小連携の強化に向けて、学校行事や総合的な学習の時間、生活科、特別活動等を活用した交流を進める。併せて、4・5歳児での「言葉の動作化」並びに「眼の体操」、「1年生の多層指導モデルMIM」、「交流活動」について継続実践していく。

(2) 3歳児の年間指導計画の実践

平成30年度から江見保育園と江見幼稚園が本市で初めての公立の幼保連携型認定こども園に移行することに伴い3歳児の幼児教育がスタートする。今後、市内保育園と幼稚園の認定こども園化を推進していくことから、江見認定こども園の実践をモデルとしながら、既に作成済みの年間指導計画に沿った指導を確実に進めていく中で、3歳児教育を充実させる。

(3) 小中一貫教育の充実

小中一貫教育10年間の振り返りから、更なる充実に向けた工夫・改善策を模索する。併せて、新学習指導要領を踏まえた鴨川市小中一貫教育「指導の重点」の改訂に向け、市教育政策研究会と連携を図り、小中一貫教育の充実を図っていく。

2、算数・数学の共通課題への継続した取り組み実践 <確かな学力の育成>

「基礎的・基本的な知識や技能」の定着

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、算数・数学での基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るため、県教育委員会が示す小学生のための「ちばっ子チャレンジ100」、中学生のための「ちばのやる気学習ガイド」を平成29年度から活用し、全小中学校で共通課題に取り組むこととした。

平成30年度は取り組み2年目となることから継続した実践を行うとともに、児童生徒の取り組み状況や学習結果をもとに、教育効果の上がる活用方法や共通課題の精選について検討し、より充実した指導実践から学力向上を図っていく。

3、「考え、議論する道徳教育」の充実 <豊かな心を育む教育の推進>

(1) 年間指導計画に沿った確実な指導実践

平成27年3月の小中学校学習指導要領の一部改定等を受け、小学校は平成30年度、中学校は平成31年度より新学習指導要領が全面実施となることから、教務主任を中心に小学校の年間指導計画を作成した。平成30年度は検定教科書をもとに「特別な教科 道徳」として、年間指導計画に沿った確実な指導を実践し、学校教育活動全体を通じて子どもたちの道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていく。

(2) 中学校年間指導計画の作成

平成30年度は中学校の検定教科書が決定する。小学校同様に平成31年度の全面実施に向け、中学校教務主任を中心に年間指導計画を作成していく。

4、一人ひとりの発達に合わせた早期発見・早期支援の取り組み

<一人ひとりの発達に合わせた支援の充実>

早期からの相談と切れ目のない支援体制の充実

鴨川市版サポート手帳の役割を担う「子どもファイル」について昨年度より周知・活用を開始した。しかしながら、まだ利用が十分とはいえない状況である。子ども1人1人の発達に即した早期からの支援をめざし、「子どもファイル」の活用を徹底していく。

次期学習指導要領では特別な配慮を必要とする児童・生徒の指導にあたって、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、効果的に活用することとしている。作成した「個別の教育支援計画」等を「子どもファイル」として有効に活用し、関係機関等と情報を共有しながら、子ども1人1人の発達に即した早期からの支援を継続していく。

I-2. 学校教育環境の整備充実

1. 5か年計画における学校施設等の計画的整備 <長寿命化や大規模改修への対応>

子どもたちが安心して学べる教育環境づくりに向け、5か年計画をもとに計画的な整備を進めていく。本年度は老朽化が進む学校施設の整備に向け、以下のことに取り組む。

(1) 西条小学校屋内運動場大規模改修工事

西条小学校屋内運動場（1979年築）は、老朽化が著しいことから、大規模改修工事を行う。（第3次5か年計画対象事業）

(2) 天津小学校屋内運動場大規模改修工事に係る設計業務

天津小学校屋内運動場（1976年築）は、老朽化が著しいことから、大規模改修工事を平成31年に実施する必要があるため、本年度は設計業務を行う。（第3次5か年計画対象事業）

2. タブレットPCの計画的配備（後期分） <ICT機器の導入>

(1) タブレット端末の計画的配備

平成29年度を初年度とする市内小中学校へのタブレット端末整備の後期分である。初年度と同様、無線LAN環境等の環境整備を最重点項目とし、教育現場での利活用の重視と、ICT教育の積極的な推進のための整備を実施していく。

(2) 旧式化した教育用PCの更新を兼ねた事業

旧式化した教育用PCをキーボード付きのタブレット端末に更新する。平成29・30年度の二か年事業である。このことにより、市内小中学校全ての教育用PCの更新が完了となる。

3. ICT機器活用能力向上に資する研修の実施 <研修の充実と自主的研究活動促進>

(1) ICT利活用推進委員研修会の充実

わかりやすい授業を展開するための一つの方法として、ICT機器の活用は大変効果的である。本年度で市内すべての学校にタブレット端末が配備されることとなり、今後はICT機器の効果的な活用に向け、教師一人ひとりのICT活用能力がますます重要となる。

ICT利活用推進委員は各校のリーダーとして校内研修の中心となるため、今年度は、昨年度にタブレット端末を設置した学校の実践事例をもとに、年間研修の内容を充実させ、ICT活用能力の向上を図っていく。

(2) 夏休み期間を活用した集中研修会による教職員の指導力向上

本年度タブレット端末を配備する学校の教職員に対し、8月上旬に集中研修を実施し、指導力向上を図っていく。なお、昨年度に配置された学校においても、新規の教職員は対象とする。研修会の講師は、昨年に引き続きICT支援員とする。会場は、タブレット端末配備済みの学校で実施していく。

4. 天津・小湊地区統合小学校の開校に向けた計画的準備 <学校規模・クラス規模の適正化>

平成29年度に決定した天津小学校と小湊小学校の平成31年4月の統合に向け、統合準備委員会と連携し、校名・校歌・校章の選定や安全な通学方法ほか、施設等の改修について計画的に準備を進めていく。

また、準備を進めるにあたっては、子どもたちや地域住民の意向を十分踏まえるとともに、取り組みの経過等について、随時、情報提供をしながら進めていく。

5. 学校給食の調理・配送業務等委託の契約締結 <民間委託の推進>

平成31年度からの学校給食の調理・配送業務等の民間委託に向けて、平成29年度に策定した民間委託に関する基本計画に基づき、プロポザール方式による業者選定を行い、契約締結を行う。